

| 学校経営方針(中期経営目標) | | 前年度の成果と課題 | 本年度学校経営の重点 (短期経営目標) |
|---|--------------|---|---|
| 1 「誠実」を大切に、全教職員で、生徒・保護者、地域との信頼関係を築く。 2 主体的・対話的に学び、互いに認め高めあうことを通して、人権尊重に基づく人間性豊かな生徒を育む教育課程の編成と実施に努める。 3 基礎的・基本的内容の指導の徹底と定着を図る授業づくり (わかる・できる授業、小中の円滑な接続)を進める。 4 知識技能を活用し、自ら考え、判断し、探究する力・表現する力を伸ばす生徒を育てる。 5 主体的に未来を見つめ、そのための今を大切に、自分の進路に向かうことができる生徒を育てる。 | | 1 小規模の生徒数、教職員数の強みを生かした教育活動を推進する。 2 1園1小1中の学園体制となることを踏まえ、生徒のよりよい人間関係づくりに焦点を当てた生徒指導、特別活動、人権教育、道徳教育の取組を充実させるとともに、学園としての実践研究を推進する。 3 個々の生徒の状況を面談等様々な機会を介して把握し、個別の適切な支援が進められるよう、教職員間の情報共有を確実にし、組織的な動きに基づいた生徒の個性と能力の尊重に努める。また、このように取り組める教職員集団を目指した研修を重ね、人材育成に努める。 | 1 弥栄学園保幼小中一貫教育の「目指す子ども像」の具現化を図るため、園小中学校一貫した教育を推進するとともに、全教職員が学校運営に参画する。 2 「生徒が自ら学び、共に考え、学びを深める学校」「違いをよさとして認め、思いやり、支え合い、高めあう学校」「生徒が目標を持ち挑戦しようとする学校」を目指し、生徒にとって居場所のある魅力ある学校づくりをすすめる。 |
| 評価項目 | 重点目標 | 具体的方策 | 成果と課題 (自己評価) |
| 学校教育指導の重点、保幼小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤として | 教育課程 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> 各教科等の目標・内容及び相互の関連をふまえ、指導計画・内容の改善と充実に努め、基礎的・基本的内容の確実な定着を図るとともに、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、探究する力・表現する力を育成する。 I C Tの活用や授業と家庭学習の連動をより一層推進し、協働的な学びと個別最適な学びの両面を追究した学力向上に取り組む。 認知能力と非認知能力の一体的な育成を推進する。 | ○講師を招いた校内研修や外部講師による授業等から、育成したい力を明確にした授業改善に向けて取り組むことができた。 ○計画的な学習会と教えあい学習に取り組むことにより、基礎基本の定着を図ることができた。 ○Teams やロイロノート、Google 等授業での端末の活用を進めることで、他者と協働しながら課題解決をする力の育成に繋がった。 △効果的な情報端末の活用の研究と授業と連動する端末を活用した家庭学習を進めていく。 |
| | 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の実践上の視点を生かした実践の推進と自尊感情の醸成 いじめ、不登校の未然防止のための校内組織の構築と丁寧な対応 | <ul style="list-style-type: none"> 発達支持的生徒指導を重視した教育活動を推進する。 集団生活や体験活動を通して生徒が自ら気づき主体的に活動することで、達成感や充実感を感じ合い自他ともに大切にする安心・安全な「居場所づくり」に努める。 生徒指導部会・教育相談部会、いじめ防止組織の中で、生徒の姿を共有し、いじめ・不登校へつながらず未然防止、早期発見・迅速・丁寧な対応のための校内体制を構築する。 |

| | | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|--|
| 学校教育指導の重点、保幼小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤として | 健康（体育）・安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の確立 ・ 健康・安全教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健・体育の指導による体力づくり及び家庭と連携した基本的生活習慣を確立する。 ・ 保健分野（薬物、性、感染症予防等）及び安全分野（生活安全・交通安全・災害安全）の指導の充実による自他の健康安全に係る自己調整力を育成する。 ・ 登下校の安全確保はもとより、防犯に関する指導及び災害等に対する防災教育の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じて、健康安全や保健に関する指導を充実させることができた。 ○ 外部講師による講話や体験等を通してより正しい知識の習得と危機対応能力の育成に努めた。 △ 交通安全や自然災害に係る指導について、地域・家庭、関連機関と連携した訓練や支援体制の構築を含めて考える必要がある。 |
| | 特別支援教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育に関する組織体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援コーディネーターを中心として、支援を要する生徒の教育的ニーズに応じた支援内容を検討し、保護者・生徒と目標を共有しながら支援の工夫改善を図れるよう校内組織体制の機能化を図る。 ・ 一人ひとりの生徒の実態を丁寧なアセスメント等により把握し、すべての生徒にとっての学びやすさ、生活のしやすさにつながる教育環境を整備する。 ・ 研修での学び、専門家の助言等を共有する等、学校組織として教員の特別支援教育に係る資質・能力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 取り出し指導や個別の課題配信等に取り組む等家庭と連携をして個別の教育的ニーズに応じた支援に取り組んだ。 △ 特別支援コーディネーターを中心とした校内組織の機能化を図る中で、支援の評価を行い個に応じた支援の質の向上を図る。 △ 生徒の多様な強みや個性を尊重するための学校としてのアセスメント機能を高め、生徒の学びやすさにつながる環境整備に努める。 |
| | 開かれた学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧で分かりやすい情報発信と積極的な学校公開 ・ P T A ・ 学園運営協議会 ・ 地域の関係機関等との連携の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校だよりや学級通信、ホームページ等で、学校の様子を発信するなど保護者・地域への積極的な学校公開を行う。 ・ P T A や地域の人材や関係機関等とのつながりを活かした連携・協働体制の構築を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 月 1 回の学校だより、ホームページの更新等による情報発信を行った。 ○ 年間を通して弥栄病院に中学生の美術の作品を展示させていただくことは、地域の方への中学校の様子のよい広報となった。 |
| 次年度に向けた改善の方向性 | <ol style="list-style-type: none"> 1 「探究的な学び」をおとしたグローバル人材の育成の実現に向けた授業改善と研究活動の推進 2 授業と連動する家庭学習の研究と情報端末の効果的な活用の推進 3 全ての教育活動において発達支持的生徒指導の推進をおした生徒にとって安心・安全な学校づくりの推進 4 弥栄学園の組織を基盤とし、学校（学園）、保護者、地域、関係機関との協働・支援体制の展開。 5 家庭や地域への丁寧で分かりやすい実践の発信 | | | |